



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 14 (令和5年7月)
発行:伊丹市立幼児教育センター
住所:伊丹市千僧1-1
電話:072-780-2488
アドレス:youkyosenta@city.itami.lg.jp

★乳幼児の発達の鍵となる「安心と挑戦の循環」

今年4月からこども家庭庁が発足し、「こどもがまんなかの社会」の実現に向けて、さまざまな政策が進められようとしています。それに先駆けて、こどもの育ちの基盤を形づくる乳幼児期の育ちをすべての人と保障していくには、めざす目的や理念などの基本的な考え方を共有しておくことが欠かせないことから、「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」の策定が進められようとしています。その準備段階として、『「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」に関する有識者懇談会 報告』が、今年の3月末に取りまとめられました。(内閣府 HP にて公開されています)

報告の冒頭「基本的な指針を策定する意義(目的)」に、「育ちの環境の多様性を尊重しつつ、保護者・養育者の「子育て」を支えることだけでなく、「こどもの育ち」そのものの質にも社会がしっかりと目を向け(中略)この重要な時期の育ちをひとしく保障していく発想へ、社会の認識を転換させていくことが重要である。」という記述がありました。ともすると、「量」や「保護者支援・サービス」の面がクローズアップされがちな乳幼児期の保育において、「こどもの育ちを支える」視点で、乳幼児期の教育・保育の「質」の重要性が明記されたということに、大きな意味を感じます。

また、基本的な指針の目的や理念を実現するための考え方のひとつとして、「乳幼児の発達の鍵となる安心と挑戦の循環」というキーワードが示されていました。

こどもの育ちには、身近な大人との「愛着」がとても大事で、その安心感を土台に、こどもが自分のペースで、遊びなどを通して外の世界への挑戦を重ね、ときには行きつ戻りつしながら少しずつ関わりを広げていく、その循環的なプロセスが大切であるということです。

そしてこのような考え方を、こどもと日常的には関わる機会のない人も含むすべての人と共有することで、すべての人の関わりが、よりよいこどもの育ちへつながり、こどもの発達を保障していくことができると書かれていました。

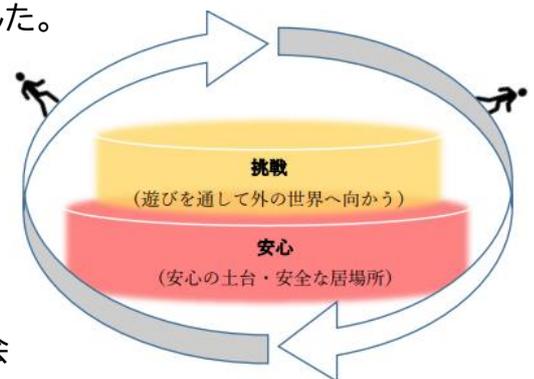


図2:発達の鍵となる「安心と挑戦の循環」のイメージ

「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」に関する有識者懇談会 報告～基本的な指針(仮称)の策定に向けた論点整理～より引用

愛情豊かな保育者のもと、こどもが小さな挑戦を繰り返すことができる、豊かな保育の環境の大事さを改めて感じるとともに、このことをすべての人と共有するためにできることは何か、各施設、センター、それぞれの立場で、これから小さな一歩を踏み出していければと思います。

★自主勉強会ははじめます★

先日、全就学前施設へご案内させていただきました。
公私立、幼・保・こ 問わず新任・若手(5年目まで)の先生が学び、
つながる場となることを願い、立ち上げました。

第1回は、7/21(金)18:30~
第2回は、8/25(金)18:30~ 幼児教育センターにて

若手の先生方へ・・・

わからないこと、困っていること等、じっくり考えたり誰かに尋ねたりする時間もなかなかとれないような、忙しい毎日かと思えます。そんなあれこれを、安心して話せる場にしたいと思っています。当日飛び入り参加、途中参加・退出も大歓迎!! お待ちしてますね。

自主勉強会 1年め～5年めが対象です はじめます!

伊丹市幼児教育センターでは、毎週複数回(月曜～1回まで)開催しています。専門書を読みこなすこと、自身の経験を共有し、仲間との交流を図ることで、自身の成長を促すことを目指しています。

また、「自主勉強会」については、開催日時から実施したいと考えています。講師の選定も、ご自身の経験や関心のある分野からご提案ください。また、開催日時もご自身の都合に合わせてご提案ください。

その2 『えほんセミナー』と保育の悩み相談

第1部 『えほんセミナー』～この絵本、誰に読んであげよう?～
保育の中にあふれている絵本。皆さんも好きな絵本がたくさんあると思います。しかし有名な絵本でもどうして子どもが喜ばないものもあるはず。そんな1冊を紹介したいと思います。

第2部 保育の悩み相談
保育者のよくある悩みに、みなさんと話し合いながら、わくわく・どきどき保育を探りましょう。

ご 参 考
1 日時 令和5年8月25日(金) 18時～20時
2 対象 公立幼稚園・保育園・こども園・認定こども園の保育士・1年～5年目の若手保育士
3 内容 絵本、保育の悩みについて(2部構成)
4 講師 伊丹市立こども園 池田 美穂 先生
5 申込方法 幼児教育センターに電話でご連絡ください

伊丹市教育委員会事務局 ことども未来課に保育課 幼児教育課
伊丹市立幼児教育センター
Tel 072-780-2488 Fax 072-780-2489
E-mail youkyosenta@city.ito.lg.jp

★ポケット購入のお知らせ★

・この度、幼児教育センターの備品として「ポケット」を購入しました。
「ポケット」とは、互いに相手の言葉を話さない人同士の会話を可能にするポケット翻訳機です。外国籍の子どもや保護者とのコミュニケーションに活用できます。市内就学前施設に貸し出し可能です。詳細は幼児教育センターまでご連絡ください。

★おススメ保育専門書 (貸し出しできます!!)

「多様な子どもたちの発達支援 園実践編」

学研 藤原 里美 著

*発達が気になる子どもたちを支えるために園ですぐに実践できる支援メソッドを、豊富な事例とともに紹介。子どもの特性に合わせた環境の整え方やかかわり方、集団活動や個別支援の工夫など、毎日の保育で活用できる支援のヒントが満載です。



★アドバイザー通信 「小さな民間園の訪問で…」(5月訪問)

商店街の中にある保育園のため、園庭もなくなかなか自然に触れる経験ができないとのこと。

わずかに光がさす場所にプランターを置き、子ども達が選んだ“なす”と“トマト”が植えられており、2歳児クラスの子供達の水やりを担当しているそうです。もう一つピーマンのプランターも。これは「野菜が苦手な子どもにも、ピーマンの甘さを知ってほしい」との園長先生の思いで植えていると話されていました。

玄関横のプランターには、花の苗が3つずつ植えられていました。色も種類もバラバラの花。よく聞くと、1歳児クラスの6名の子どもが近所の園芸屋さんに行き、自分で好きな花を選び職員が植えたそうです。保護者はわが子が選んだ花のことを聞き、親子で送迎時に様子を見て会話をはずませているようです。

ちょっとした工夫で…“愛情・自然・ことば”を大切にしていることが伝わってきました。(幼児教育アドバイザー 中務)



見直そう! 0・1・2 歳児保育マンガでわかる

「保育の今、これから」

学研 汐見稔幸 著

*「0・1・2歳の主体的な保育って何?」「不適切な保育をどう考える?」「0・1・2歳の保育で大切なこと」「SDGsと0・1・2歳児保育」「非認知能力って何?どうやって伸ばす?」など、0・1・2歳児保育や今の保育、そしてこれからの保育において、知っておきたい大切なテーマや言葉を取り上げています。わかりやすく、気がまえることなく、これからの保育を学ぶことができます。保育の質の向上を目指す、すべての保育者に読んでもらいたい1冊です。